

# 「未利用バイオマス資源を活用した昆虫原料による水畜産飼料生産」

## 昆虫利用研究成果ビジネス化マッチングセミナー

主催者；(地独) 大阪府立環境農林水産総合研究所

大阪府商工労働部産業化戦略センター 共催

日時；2018年6月29日(金) 14:00~16:00 (参加費無料)

場所；あべのトラス6階ミーティングルーム (大阪市阿倍野区松崎町2-2-14 オーシー松崎町ビルA棟

TEL/06-6115-6051) <https://www.abeno-truss.jp/index.html#access> (外部リンク)

参加申込；前日までに環農水研ホームページの以下のURLもしくは電話072-979-7059(土日を除く9:30~17:30)で申込み ※30名程度を想定しています。

<http://www.kannousuiken-osaka.or.jp/ssl/180629s/16>

### 内容

- ・趣旨説明
- ・話題提供「未利用バイオマス資源を活用した昆虫原料による水畜産飼料生産」  
(地独) 大阪府立環境農林水産総合研究所 研究管理監 藤谷泰裕
- ・質疑及び意見交換
- ・展示 (昆虫標本、生産プラント (イメージ)、研究成果パネル、関連業界情報パネル等)

### 【世界的な食糧不足、飼料不足】

- ① 近年、世界的にイワシ漁獲量が低調で、魚粉価格が乱高下。慢性的な魚粉不足で、原料の5割以上を魚粉が占める養魚飼料は、安定したタンパク質原料の代替物が求められている。
- ② 国際連合食糧農業機関 (FAO) では、気候変動や世界的な人口増加による未来の食糧危機を背景に、昆虫タンパクの利用に向けた報告書「食用昆虫：食料と飼料確保のための未来展望」を発表。



### 【アメリカミズアブ (ミズアブ) に注目】

- ① 双翅目の昆虫で、北米原産とされ日本を含む世界の熱帯から温帯に広く定着。
- ② 幼虫は食品廃棄物や家畜排せつ物などを幅広く利用できる食性を持ち、炭素・窒素分を脂肪やタンパク質の形で体内へ高濃度に蓄積。魚類や家畜・家禽の飼料として利用可。特に養魚飼料への利用が期待。



### 【大阪環農水研のこれまでの研究】

1. ミズアブ研究に着手→畜糞減量率80%に成功 (2013)
  2. 環境省の競争的研究資金に代表として応募・採択 (2015)  
「ミズアブの機能を活用した革新的資源循環系の構築」  
(共同：国際農林水産業研究センター、愛媛大学、香川大学)
- ミズアブの食品廃棄物処理能力と処理後幼虫の有用性検証

- ① 食品廃棄物処理へのミズアブの適性を確認



地方独立行政法人  
大阪府立  
環境農林水産総合研究所

